

自然を愛し、力をあわせて、緑と空をときれ
陽のいっぱいあるとき
いなまちをつくりま
よう。



○No. 275 ○昭和54年3月15日発行 ○編集発行/北海道登別市/総務部公聴広報課 ○印刷/中西印刷



市立幼稚園の一日入園——2月26日、市立富士幼稚園で4月の入園の前に、集団生活のふん囲気親子そろって感じとってもらおうと、一日入園がひらかれました。

先生のリードで、出欠の確認(返事の練習)、先生たちの劇など進むにつれ、子供たちの緊張もほぐれ、お母さんたちのホオもついゆるんでいました。

ゴミ問題で生活学校が対話集会 減量・分別へ意識の高まりを

資源の再利用と過剰包装、ゴミ処理問題に取り組んでいる、登別市生活学校(内山トヨ代表)は、去る二月二十三日、中央公民館で本年度二回目の対話集会を開きました。

今回は、私たちの周囲には、使っている商品が多く、ゴミの山が増大する一方であり、大きな社会問題となっています。

そこで、四月から本格操業に入る、ゴミ焼却炉の耐久性を考え、分別収集の徹底、ゴミの減量に対

する市民の理解を深めることを目的に、対話集会を開いたものです。

参加したのは、生活学校主体メンバー、各町内会、婦人団体をはじめ、市衛生部、ホームストアと廃品再利用業者が専門メンバーとして出席。あわせて約百名による対話集会となりました。

生活学校が行なった、ゴミ分別収集アンケートの結果と分別収集に対する意見があらかじめ報告され、これにもとづいて、活発な意見、要望が出されました。

アンケートは、今年一月に市内千人の婦人を対象に行なったもので、回収率が七五%とまずまずの結果となり、関心の高さを示しています。

結果を見ると、ゴミの分別状態については、「分けている」と答えた者が全体の八九%に達し、理解度は高く、さらに、ゴミの入れ物の区別では、八二%が区別していると答えています。

また、現在、月二回、各地で実施している不燃性ゴミの回収回数については、「少ない」が四五%、「現在のままでよい」が四四%とほぼ同数ですが、アンケート票の末尾に用意された意見コーナーでは、「燃えないゴミの回収を増やしてほしい」との要望がトップを占めていました。

そして、燃えないゴミの種類はバック容器やビニール袋などが、九一%と圧倒的に多く、意見コー



ゴミ問題で活発な意見、要望が出され、市民の協力について話合われた対話集会の様子。

ナーでも、商店に対し紙製を用いるなど不燃性容器を少なくしてほしい」との要望が上位にランクされています。

この日の対話集会では、市衛生部がこれまでに行なった、ゴミの仕分け状況調査の結果を説明しました。

これによると、燃やせるゴミが八四%、燃やせないゴミが十六%

と、以前とくらべて全体の三十%はあるはずの燃やせないゴミが、十六%しか分別収集されていません。

このため、経過を見ながら回収回数を調整していく方針と説明。

また、バックやトレイ類の問題では、業者側は鮮度を保つためと人件費を省くために使わざるを得ないが、改善できるものもあるので努力していきたいと考え、回収できるものはメーカーや取扱店と交渉して考えてみたいと説明しました。

引越しメモ

転勤といえ、辞令が出たら引越しまで、一週間というように短期間の場合が多いことと思えます。

何かと気ぜわしい時期ですが、引越しの事務手続きは早めにすませてください。

転出の届けをする際には、印鑑が必要ですから、用意してください。

電気、ガス、水道などは二、三日前に連絡して、引越し

当日、検針と集金に来てもらう時間を打ち合わせておきましょう。新聞、牛乳などの支払いも早めに連絡しておきたいものです。

郵便局には転居通知を出してください。電話は最寄りの電話局で移転の手続きをしましょう。

くみ取りの手続きも忘れずに行ないます。最後に、お世話になった方々、お隣り、近所へのごあいさつをお忘れなく。

昭和54年度予算編成方針 公共料金据え置きなどを表明

第1回
定例市議会



昭和五十四年第一回市議会定例会は、三月一日から十六日までの日程で開会中ですが、五日に田村市長の昭和五十四年度の予算編成方針の説明がありました。

内容は、一期四年間の締めくくり当たり「市民生活優先の積極的なマチづくりを大胆に推進、市民要求に若干でもこたえられた」とのべると共に、公共料金は前年度並みに据え置いた」と表明しています。

この内容と議案について、簡単にふれてみました。

改選期のため基本的経費のみを計上

ご承知のように、今や国際的にもまた、国内的にも混沌とした外交、政治、経済と構造不況による企業倒産と失業等を中心とする激動が続き、市民生活も極度の不安におびやかされ、社会全般的に不安はつのるばかりです。

このような、きびしい時代の地方行政運営もまた、重大な危機にさらされ、市政もまたそれに標準をあわせた、日日革新を迫られ、これまでの単なる継続ではなく、「市民生活本位」の新鮮な感覚と二十年、三十年先を展望する、長期の視点に立って、大胆な発想にもとづく新しい市政でなければなりません。

そして、市民生活上の格差の問題、高齢化社会を迎えての、今後の高度な福祉対策、教育の正常化問題、弱者救済対策等々、このよ様な不安の原因を段階的にも取り除き、解消する政策を樹立し、よ

り豊かな快適な生活への条件をつくりあげる。

これが「政治であり」市政もまた、「市民主体」に徹し、あくまでも市民のための市民の行政として、みんなが動いていくことが重要です。

この意味において、私は市民全体の奉仕者としての理念に徹し、自治意識の高揚と自分たちの地域社会は、みずからの手でつくりあげるという創造的な自治活動を盛んにしなければなりません。

こうした考え方を基本として、昭和五十年四月、登別市長に就任以来今日まで、これまでの行政のおくれを打開し、新しい行政需要を積極的に開拓するため、「住みたくなる登別」、「住んでよかつた登別」を目標に、市政の経営にも発想の転換を求め、「企業経営的感覚による行政」を進め、市民生活に必要な緊急的公共建設事業の

実施、人間優先による政策を、大胆に推進して参りました。

四カ年の短い期間と限られた財源を、効率的運用などにより、市民のご要望に対し、若干でもこたえ得られましたことは、これひとえに市議会議員各位及び市民のみならず、市民の理解と協力さらには、報道関係各位、職員ならびに関係者のご協力の賜ものと厚くお礼を申し上げます。

この協力の賜ものと厚くお礼を申し上げます。

本日ここに、一期四年間のしめくりにあたり、新年度の予算案を編成する次第ですが、きたる四月には統一地方選挙にあたり、登別市長ならびに登別市議会議員の任期満了による改選期でありますので、新年度における新規事業、あるいは継続事業等の重要施策につきましまして、新たに選出された首長によって策定樹立すべきものと考え、今回の予算編成から割愛し、行政の基本的な経費の計上のみ、留めた次第です。

まず、一般会計の歳出についてですが、経常経費、義務的経費に

ついては、事務の合理化、節約によって効率的な運用がはかられるよう査定、精査いたしました。

次に、継続事業費等については道路、学校、市営住宅、その他施設等の維持補修費および失業対策事業費等義務的なものや、年度当初から実施を必要とする当面の諸経費を最小限度計上いたしました。

また、各種負担金、助成金、交付金等についても、義務的あるいは実効あるものについて、検討を加えて計上いたしました。

これに対する歳入については、新規事業費および政策予算に充当するための、地方交付税ならびに市税等の一部財源を留保したほかは、すべての歳入調定額を見込んで計上し、特に申上げたいことは、市の公共料金等すなわち市税、国民健康保険料、各種使用料、手数料、保育料、水道料、給食費等については、今後国の法律で改定されるものを除き、前年度同率として据置き、市民の負担増とならないよう特に配慮しました。

続いて、特別会計予算については、いずれの会計についても、健全、有効な経営をはかるべく、年間収支の均衡をはかりました。

ただ、上野別東部地区、土地区画整理事業特別会計については、事業または、政策的性質を有するものと考えられるものについては計上をさせ、一般会計と同様に、経常的、義務的なものについてはみ計上いたしました。

また、水道事業会計では、本年

度より継続中の幸町付近への本管延長事業費を計上し、その他の新規事業については、一般会計同様計上を見送りしました。

以上のように編成した昭和五十四年度登別市予算の総額は、

- ◎一般会計 六十九億六千八百万円
- ◎国民健康保険特別会計 十一億四千五百七十六万八千円
- ◎観光事業特別会計 八千七百七十一万四千円
- ◎学校給食特別会計 三億三千七百二十二万四千円

本議会に提案された、昭和五十二年の各会計決算の結果報告は賛成多数で承認されました。

決算額は一般会計歳入が、百三億一千八百六十五万二千円、歳出が百二億四千八百九十九万九千円、差引七千七百八十八万三千円、翌年度へ繰越す財源を除くと実質収支額は、七千六百四十二万八千円です。

また、特別会計の決算については、国保会計が歳入七億四千九百九十七万九千円、歳出七億三千九百三十三万四千円となり、実質収支額は、百六十六万三千円となりました。

昭和52年度決算認定さる

観光特別会計では、歳入七千九百九十八万七千円、歳出七千五百八十万三千円、十八万四千円の実質収支額となっています。

さらに、学校給食会計でも、歳入三億五百八十八万、歳出三億五百七十五万三千円、四万七千円の実質収支額が出ています。

最後に、土地区画整理会計は、歳入三億一千八百八十四万三千円、歳出三億四百六十六万三千円、実質収支額が一千三十八万八千円となりました。

議案の概要については、三月一日号本紙でお知らせしていますので、割愛しますが、市民のみならず、関係するものを挙げてみますと、まず、地域の生活道路として新しく十三路線を市道に認定するもの。そして、本年三月末までに完成予定の各施設、老人憩の家（柏木町四丁目婦人研修の家併設）

- ◎土地区画整理事業特別会計 二億六千四百六十六万五千円
- ◎水道事業会計 二億八千三百七十四万九千円
- ◎合計 九十億二千二百四十二万八千円となりました。

以上のとおり、予算編成の方針と大要について申しあげたわけですが、十分ご審議のうえ、適切なご決議を賜るようお願いいたします。

共に、今後登別が新しい時代にむけて、さらに躍進することを確信して、本期定例会に対する、新年度予算編成方針の説明を終わります。

市道路線の認定など審議

児童館（常盤町二丁目）、市民レクリエーションセンター（富士町七丁目）、婦人研修の家（桜木町二丁目）、青少年会館（富岸町二丁目）そして、若山町に建設中の職業訓練センターのそれぞれの施設が出来ることによる、管理運営面について条例の一部改正、新条例の制定などを審議中です。

市民の声

します。
今後とも応接態度に十分意を払い、市民と密接した税行政を進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解、ご協力をおねがいいたします。
(税務部市民税課)

市民プール

市民プールの運営管理上、次のことを守ってご利用いただくようお願いいたします。

- 水泳帽子を着用してください(各自で用意してください)
- 三歳未満の幼児の使用はご遠慮ください。
- 小・中学生の利用時間は学校の生活指導上、次の通りです。
小学生：午後三時四十五分まで
中学生：午後四時四十五分まで
ただし、次の場合はこの時間以後も、特に使用できます。
・団体・専用使用(使用許可のあるもの)で、責任者が引率している場合。
・原則として、保護者一名に対し小人二名(自分の子供)まで。

● 閉館時間の三十分前に遊泳を終了すること(登別市民プール 電話5局588)

国民年金の加入を忘れている人はすぐ手続きを

国民年金は、二十歳から六十歳までの人で、厚生年金などの公的年金制度に加入していない人は、すべて加入する国の年金制度です。

この国民年金は、一定期間加入して、六十五歳になると老齢年金を受ける制度ですが、加入の手続

除料を納めても、老齢年金が受けられません。(該当者は、昭和五十五年六月までの特例納付制度を活用ください。)

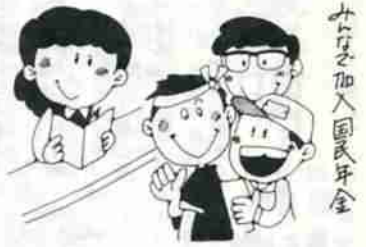
このようなことにならないよう二十歳になった人、他の公的年金をやめた人、未加入の人は、すぐに国民年金へ加入する手続きをしてください。

くわしくは、市保険年金課国民年金係が、最寄りの各支所にお問い合わせください。

国民健康保険証が新しくなります

現在、使用されている保険証は四月三十日までに更新し、五月一日から保険証を使用できなくなります。

市では、次の日程により新しい保険証を交付しますので、保険証と印鑑を持参のうえ、きめられた場所へ更新してください。



保険証更新日程(一部)とある所は近い実施場所へ

月日	曜	実施地区	実施場所	時間
4/3	火	栄(一部)・新生(一部)・富岸(一部)・若山(一部)・大和(一部)	富浜児童館	10時～16時
4/5	水	幌別・千歳・新栄・幸(一部)・中央・常盤川・柏木・釜山・片倉・来馬・新部・大和(一部)・青葉・川上・札内(一部)	中央公民館(1号和室)	10時～16時
9	月	カルルス	オロフレ荘	11時～14時
10/11	火水	美園・若草・上鷺別・新生(一部)	ひまわり園	10時～16時
12/13	木金	登別温泉・上登別・中登別(一部)	登別温泉支所	〃
16	月	富浦・幸(一部)	漁業会館	〃
17/18	火水	鷺別・栄(一部)	鷺別公民館	〃
19/20	木金	登別東・登別本・登別港・札内(一部)・中登別(一部)	登民会館	〃

中小企業者へ金融のご案内

※なお、保険税を未納のままにしている方は、更新時までに納入してください。(健康保険係)

道が中小企業者対策の一環として、例年おこなっています。中小企業年度末金融を、本年も次のおりおこないますのでご利用ください。

- 融資対象 市内中小企業者(中小企業等協同組合法に基づく組合を含む)。ただし、遊興娯楽などの業種は除きます。
- 融資条件 融資金額、一企業一千万円以内、組合一千五百万円以内(転貸の場合は三千万円以内)。
- 資金使途、運転資金、融資期間、一年以内、融資利率、各取扱金融機関の利率による。担保、原則として担保必要。
- 信用保証 全て道信用保証協会の保証付。保証料率、無担保無保証人保証は、年〇・七二%、一般保証は年一・〇〇%。
- 申し込み先 北海道銀行、北海道相互銀行、室蘭信用金庫、室蘭商工信用組合

その他不明なことがありましたら、市商工振興係(電話5局2111内線273)に、お問い合わせください。

二歳児歯科検診

歯科医師、歯科衛生士、保健婦による「二歳児歯科検診」を、無料で実施します。

歯科検診、歯に関する講話、はみがき指導、フッ素塗布(当日希望をとって後日実施)等を、企画していますので、対象児はもれなく受診してください。

実施月日	受付時間	実施場所	対象地区(町名)
4月10日	12:30～13:00	登別公民館	登別東町・登別本町・登別港町・富浦・札内
4月11日	〃	登別温泉公民館	カルルス・登別温泉・上登別・中登別
4月12日	〃	中央公民館	富士・桜木・幌別・幸・千歳・新栄・緑・来馬・川上
4月13日	〃	〃	柏木・常盤川・片倉・新部・大和
4月18日	〃	鷺別公民館	鷺別・上鷺別・大和・新生・若山
4月19日	〃	〃	美園・富岸・若草・栄

ご寄贈ありがとうございます
ごさいます(敬称略)

社会福祉協議会(愛情銀行へ)
。現金寄贈 登別市子供会育成連絡協議会、山名建設、登別市藤工芸サークル、登別温泉第六町内会、登別温泉第一町内会、登別民謡連合会、(故)川田ハギ、深山和弘、由加里、敏文、勇

。物品寄贈 千葉一男、白浜吉太郎、匿名一件

。古切手寄贈 佐々木ニキ、むつみ子供会、渡辺吉次、港運貨物

※検診は2時間位かかりますのでご了承ください。